



二十六聖人

令和3年6月号

(令和3年5月30日発行)

教会だより

2021. 6 No. 337

カトリック二俣川教会 TEL 045-391-6296
<http://www.futamatagawa-cc.com/>
主任司祭：ヤコブ 姜 真 求 (カン ジング)

イエス様のみ心

新型コロナウイルスのため、世界のすべての人が1年以上、酷く患っています。この病気は社会の様々な分野に影響を与えていますが、特に、人と人との絆についてはなおさらです。所謂「ソーシャルディスタンス」という言葉が、今になっては全然拒否感を呼び起こしていないし、むしろ、スーパーなどの所では、周りの人との距離を意識している自分に驚くほどです。マスクはもう自分の体の一部分のように認識されていて、一昨年までは韓国人の私にとって、マスクは本当に嫌なことでしたが、今は、司祭館から出かけるとき、マスクの箱に手を入れることが当たり前のようになっていきます。こんな状況の中で迎えた「イエス様のみ心の月」は、人との絆について改めて考えさせているような気がします。

ところで、6月の『二十六聖人』の巻頭言の内容について悩んでいたある日、突然「神様はなぜ人間を造られたのか」という質問が頭に浮かびました。そして、何ヶ月か前に、あるコラムで読んだ文章を思い出しました。それは「神様は人間を愛する為に、人間を造られた」ということでした。これは何と素晴らしい愛でしょう。何一つ足りないところもない完全な神様には愛する対象が必要だったということでしょう。その満ち溢れる愛で、神様は人を造られたのです。ですから、神様にとって自ら人を愛することは当たり前のことで、それに反することは神様にはあり得ないことなのです。このように考えてみたら、人が人を愛するのは当然なことであり、また、義務でもあることが分かります。なぜなら、人は神様が愛するために造られたので、誰であっても憎まれるのは神様の愛に背くこととなるからです。イエス様が「神様を愛し、隣人を愛しなさい。」、また、「互いに愛し合いなさい。」と教えられたのは、神様のみ心が分かったからでしょう。人に向かう神様のみ心、或いは、お望みとは、人が愛されることに違いありません。わたしたちは互いに愛し合うことによって、その神様のみ心をかなえる人、また、そのみ心にかなう人となるのです。

最近、ある信者さんの家を訪れたとき、見せていただいたある文章があり、ここで紹介させていただきます

天主さまの頭を
なでることはできません
しかし幼な子の頭を
なでることはできます
それが天主さまを
愛することです

天主さまに水を
のますことはできません
しかし旅人に水を
さしあげることにはできます
それが天主さまを
愛することです

天主さまを愛すると
口で言うよりも
目の前にいる人に
親切にすることが
天主さまをほんとうに
愛する人の道です

(パウロ 永井隆)

新型コロナウイルスは今の人類が経験したこともないことだと、よく言われます。しかし、愛することはすべての人が良く分かっています。それは皆、神様の愛をいただくために造られ、互いに愛されるために造られたからです。イエス様のみ心は、神様のみ心でもあるでしょう。今月、そのみ心をもっと深く学びつつ、これからも愛の生活を続けるよう努めましょう。

主任司祭 ヤコブ 姜 真求



5月教会委員会報告

【司祭】

今日の福音（ヨハネ15・5～8）を朗読します。

「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである。……あなたがたが豊かに実を結び、わたしの弟子となるなら、それによってわたしの父は栄光をお受けになる。」

5月はマリア様の月です。一昨年まではミサ前にロザリオの祈りを皆で捧げていましたが、今の状況ではそれも難しくなっています。そこで皆さんに、例えば夜9時に各家庭でロザリオの祈りを捧げることを提案いたします。

【今月の検討項目】

1. 信徒集会に関する意見

- ・特記事項なし

2. (信徒集会までに寄せられた) 信徒からの意見

- ・教会まわりの清掃 → ヨゼフ会ですでに活動開始
- ・ボランティアへの男性勧誘
- ・行事や事案が発生した場合の対応等
- ・その他 以上5件

一番目の項目を除き、提案の背景等について今後調査が必要です。今日は提案をそのまま紹介しましたが、まずは常任委員会を中心に議論し、随時、教会委員会に報告して対応を議論します。

3. 「集会室利用ガイドライン」案（前回の議論を受けた見直し版）

- ・提案内容を承認しました。
- ・これらの項目のうちコロナ罹患等が判明した場合の教会への連絡に関するお願いについては、「ミサのガイドライン」についても同様とし、今後随時反映します。
- ・基本的には、5月の連休明けから、内部で且つ勉強会等を目的とする場合のみ使用可能とします。
- ・具体的には個々に神父様と相談しながら進めます。
- ・その他清掃等の注意点等については、個々に事務所に相談します。

【その他の検討・確認事項】

① 事務所

- ・ 5月12日のミサ後、聖堂内（香部屋を含む）の一部で二ス補修を実施します。

② 教会学校

- ・ 毎月第4日曜日は「教会学校と青年が共に捧げるミサ」です。
- ・ 5月9日から、初聖体の準備の勉強会を毎週日曜日 10時から実施します。そのあと、11時のミサに参加（関係者周知のこと）します。

③ キリスト教講座

- ・ 入門講座開講。水曜日 10時（6月9日より）、土曜日 15時（6月12日より）。受け付けは5月8日（土）からです。
- ・ 他の講座は集会室の利用に関するレクチャーを受けた後に開始予定ですが、別途案内いたします。
- ・ 今年の堅信式は10月17日です。
8月から集中的に講座を行いますが、6月から対象者に連絡し受堅者を募集します。

④ 広報委員会

- ・ 「二十六聖人」に広報委員会のコラムを設けて信徒の理解に努める予定です。

⑤ 福祉委員会

- ・ 「二十六聖人」等を使って信徒に献金先の理解を深めてもらうことを考えています。

⑥ ヨゼフ会

- ・ 4月27日に教会内の草むしり、外部清掃を実施しました。今後も適宜実施予定。

⑦ 青年会

- ・ 青年のライングループの活動を紹介。教会学校と共同でミサを行っています。
- ・ 先日、近所の公園で新入生歓迎会を実施しました。

以上

信徒集会報告

去る4月18日（日）午後1時より御聖堂にて信徒集会が開催されました。約40名弱の方が参加され意見交換がなされました。コロナ禍の制約の下、参加者を、教会委員会、各地区代表者（地区世話人連絡室を含む）、事前募集された参加希望者に限定しました。当日は、信者の皆さんに事前配布した資料に基づいて、この一年間の教会活動について報告及び質疑応答がなされました。主な議題は次のとおりです。

議題

- ① 開会の祈り
- ② 教会委員会委員の紹介
- ③ 2021年の主な活動
- ④ 財務報告
- ⑤ 2021年教会委員会基本方針
- ⑥ 事前に信者の皆さんから応募した意見
- ⑦ 閉会の祈り

事前に一般に募集した意見は5件ありましたが、当日までには整理・調査が間に合わなかったため、今後機会を見つけて皆さんに対応を含めてお知らせすることが確認されました。

(追記)

信徒集会終了後、現行のミサ奉仕（コロナ対策）について話し合いが行われました。主な内容は次のとおりです。

- ・ミサ奉仕者について当番表を作成し、これで管理する。
- ・ミサ奉仕者はいろいろな人が担当することが望ましい。
- ・体温計（の精度）についてなど。

以上ですが、**今後も皆さんのご意見を広く募集しますので、何か感じるがありましたら事務所までご連絡をお願いします。（匿名性は守ります。）**

教会委員会 F. Y.

典礼カレンダー（6月）

6月 6日（日）	キリストの聖体	（祭日）
6月 11日（金）	イエスのみ心	（祭日）
6月 13日（日）	年間第 11 主日	（主日）
6月 20日（日）	年間第 12 主日	（主日）
6月 24日（木）	洗礼者聖ヨハネの誕生	（祭日）
6月 27日（日）	年間第 13 主日	（主日）
6月 29日（火）	聖ペトロ・聖パウロ使徒	（祭日）

「わたぼうし教室」からお礼の手紙

毎年教会では、秋に行われているふれあいバザーの収益金の一部を、「年末福祉献金」として近隣の福祉団体への寄付に割り当てて参りました。昨年は残念ながらバザーは中止となりましたが、信徒の皆様からのクリスマス献金が多く集まり、例年と同様に各団体にお送りする事ができました事を報告いたします。皆様、有難うございました。

この度、寄付先の団体のうち「わたぼうし教室」から教会にお礼のお手紙が届きましたので、ご紹介いたします。

福祉委員会 O. M.

「わたぼうし教室」は、横浜市に本拠地を置き、学生ボランティアの方々を中心に、「外国にルーツがある子どもたち」を対象として、日本語会話等の学習支援を行っている民間の団体です。（横浜市南区）

- ◆わたぼうし教室（毎週土曜日 午前 10 時～12 時）
- ◆横浜みなみインターナショナルスクール（毎週土曜日 午後 2 時～5 時）

2020年学習支援事業活動報告(抜粋)



対面式学習支援に来た小学生(上段中央)と、在宅の大学生ボランティアを ZOOM でつないで日本語会話の勉強



対面式学習支援に来た中学生が、在宅の大学生ボランティアに ZOOM で日本史の宿題を見てもらう



対面式学習支援に来た小学生が、在宅の大学生ボランティアと ZOOM で百人一首をする



LINEを活用したオンライン学習支援の一例



「3密」を避ける努力をしながらの対面式学習支援

活動責任者: 大元麻美
問い合わせ先:
〒223-0058
横浜市港北区新古田東1-12-16
TEL 090-1508-9483
メール asemiohmoto@yshuo.co.jp

◇1月~2月 従来の対面学習支援での日本語教室を行った。

◇3月~5月 新型コロナウイルスの感染拡大で小中高校が休校となり、それに伴い教室である会場も休館。対面式の学習支援活動が休止となったため、LINE等を利用したのオンライン個別学習支援を行った。

◇6月~対面式の学習が再開となったが、学生ボランティアの参加が少なかったため、ZOOM等を利用したのオンライン日本語会話勉強も並行して行った。

◇7月~12月 各団体からのPCの寄贈やご寄付により、オンラインを使つての勉強会を拡充する事ができた。

呉川教会の皆様

Merry Christmas
and
A Happy New Year
Ann
REIKO

1年間
ありがとう
ございました!
7931トキ

Carth

あかひまで、
彼と子供たちと共に、勉強しながら、
いっしょとお話しながらお話を
分けてあげると、とても
心から感謝いたします。
これからも、わたぼうし教室のメンバーを
誇りに思い、ご協力をお願いいたします。
宜しくお願ひいたします。 大元麻美 T.2021

2020年は「わたぼうし」に出会って以来、人生で最高の年でした。
彼らは私が持っていない家族、私が持っていない友人になってくれて、そして私が今までになかったサポートをして私を愛してくれました。
「わたぼうし」が導いてくれなかったら、人生どうなるかわかりません。
ありがとうございました。私はあなたが私に示してくれた愛、思いやり、そして心配してくれたことにとても満たされています。どうもありがとうございました。ラファエル

今年子どもたちと一緒に
楽しい時間を過ごせたと喜んで
本当にありがとうございました。
朝香雄太

1年間
ありがとう
ございました!
おはよう!
雄太 麻美

いつも子どもたちの教育に心を寄せてくださり、
力強くお支えくださり、本当にありがとうございます。
皆様の上に神様の豊かな祝福が降り注ぎます。
大元麻美
わたぼうし教室&横浜みなとみらいカレッジ日本語ルーム



「二十六聖人」をいっしょに作りませんか？

広報委員会は大きく分けて下記の二つの活動をしています。

- ① 教会誌『世の光』と『二十六聖人』の編集・発行・保存
- ② 教会 HP（ホームページ）の更新・維持・管理

今回は①について説明したいと思います。原則として、『世の光』は年2回発行を予定し、内容は信徒の皆さまからの投稿となっています。また『二十六聖人』は、『世の光』を発行しない月の最後の日曜日に翌月号として発行しています。内容は「巻頭言」と「教会委員会報告」を中心に、宣教司牧の観点から、教皇様のメッセージや二俣川教会内の諸活動の報告を掲載しています。神父様から、『何回でも読み返したくなるような教会誌を目指してください。』との励ましの言葉をいただき、一同、がんばっているところです。

原稿依頼から編集までのほとんどをオンラインで行い、仕上げた稿を印刷版として発行すると同時に、教会 HP（ホームページ）のタイムラインと共同体向けページにアップする形で発行しています。しかし現状では、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、印刷版の発行が困難になる場合があります。でも逆に考えると、ネットの発達した社会になっていることが幸いして、パソコンを使つての編集は感染とは無関係ですし、教会 HP に掲載することや、それを皆さまに閲覧してもらうことのハードルが下がっている現実があります。

さて、がんばっているのは確かなのですが、何分にも広報の人数が足りません。編集だけなら何とかなるかもしれませんが、HP にはもっともっとマンパワーが必要です。パソコンをお持ちで使える方、編集に興味のある方、教会誌と一緒に作ってみませんか。

目下、教会委員会の主導で「教会 HP リニューアルプロジェクト」が動き出そうとしています。その準備の為に、まずは広報が担っている活動を知っていただき、可能ならば、編集スタッフと同時に、教会 HP を担当するスタッフを募集させていただければと思います。下記広報アドレスにメールをお送りいただき、協力したいという意志を示してくださいませんか。一同お待ちしております。

[koho-new \(アットマーク\) futamatagawa-cc.com](mailto:koho-new (アットマーク) futamatagawa-cc.com)

次回は②の教会 HP について詳しく説明させていただきます。

広報委員会



【編集後記】5月は祈りのマラソンで繋がりました。パウロは「・・・私たちはどう祈るべきか知りませんが“霊”自らが言葉に表せない呻きをもって取りなしてくださいませ。・・・」祈るのは最終的に私たちではなく、私たちの中であって祈る聖霊であると言われていました。聖霊降臨の主日を過ぎ、年間の期間に戻っても、祈る力がますます与えられていると感じています。(S.O. 記)